

県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします

福井県立病院広報誌 コンパス

# Compass



51号  
2019 March

## 五大がんで死なないために！

1971年「がんを撲滅する！」ニクソン大統領が国民にこう宣言した25年後、米国国立がん研究所は「がん死亡率は毎年0.5%減少している。がん対策の成果だ。」と誇らしげに発表しました。一方日本はどうでしょう？たとえば2016年大腸癌の死亡者数は年間50600名、米国の50310名を上回る数値です。米国の人口が日本の2.5倍であることを考えるといかに多いか理解できます。専門家の分析では、米国の大腸癌死亡率減少の要因は、第一に検診の増加、次に禁煙とされています。日本の検診受診率は約40%、米国の60%に比べ低率です。精密検査受診率も70%前後とやはり低いのです。日本は検査技術や診断・治療成績は世界トップレベルです。早期発見すればがんは90%近くの方が治ります。福井県では五大(肺、胃、大腸、乳腺、子宮頸部)厚労省が検診を勧める5つの部位)がん検診が、国の指針に基づき精度高く行われています。我々医療従事者はひとりでも多くの皆さまにがん検診をお受けいただき、がんで死なないで欲しいと願っています。

当センターは急性期総合病院併設の健診施設として、福井県立成人病センター時代から50年以上にわたり、疾病の早期発見・早期治療および予防に努めてきました。年間6000名にのぼる人間ドックとがん検診に関わる精検を柱に、院内各科との迅速な連携による質の高い医療を皆さまの気持ちに寄り添っておこなっています。各種ドックにおきましても、科学的に根拠のある国の指針に準じた健診を行っておりますので、どうぞ安心して健康診断センターをご利用頂きたいと思えます。今後ともより一層のご支援ご指導よろしくお願ひ申し上げます。



健康診断センター長

**服部 昌和** (はっとり まさかず)

- 専門分野  
一般・消化器外科/大腸、小児外科
- 所属学会等  
日本外科学会指導医・専門医  
日本消化器外科学会指導医・専門医  
日本消化器病学会指導医・専門医  
日本消化器内視鏡学会指導医・専門医  
日本大腸肛門病学会指導医・専門医  
日本消化器がん検診学会指導医・評議員  
日本内視鏡外科学会評議員  
がん治療認定医

2019.04  
|  
06

### 主なイベント・セミナーのご案内

- 4月 3日(水) ボランティアコンサート(北陸高等学校生徒と先生)
- 4月 4日(木) ボランティアコンサート(女子高生のヴァイオリンアンサンブル)
- 4月18日(木) ボランティアコンサート(アルトサクソとピアノ演奏)
- 4月25日(木) 認定看護師研修会(新生児集中ケア) 対象/看護師等
- 4月25日(木) 開放型病床カンファレンス 対象/地域医療連携医
- 4月26日(金) ボランティアコンサート(ピアノ演奏と歌)
- 5月 8日(水) ボランティアコンサート(ピアノ演奏)
- 5月16日(木) 看護週間行事 対象/一般
- 5月16日(木) ボランティアコンサート(アルトサクソとピアノ演奏)
- 5月20日(月) 認定看護師研修会(集中ケア) 対象/看護師等
- 5月23日(木) 開放型病床カンファレンス 対象/地域医療連携医
- 5月24日(金) ボランティアコンサート(ピアノ演奏と歌)
- 6月20日(木) ボランティアコンサート(アルトサクソとピアノ演奏)
- 6月27日(木) 開放型病床カンファレンス 対象/地域医療連携医
- 6月28日(金) ボランティアコンサート(ピアノ演奏と歌)

## Index

- P2~ 特集  
肝炎は正しい知識と治療でより簡単に治せる時代に
- P4 ドクターにききましたっ！  
内視鏡治療最前線 / 病院NEWS
- P5 県立病院がん医療  
AYA世代(15歳~39歳)がんサロンを開催
- P6~ 地域医療連携通信 / 開放型病床カンファレンスのご案内
- 裏表紙 教えて看護師さん  
「糖尿病患者さんのフットケアについて」ちょこっと解説

## Compass

この広報誌が「皆様と当院の輪(和)を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、「今後の道しるべ」となれるよう思いを込めて「コンパス」と名付けました。

▶お問い合わせ先

☎0776-54-5151(代表) <http://fph.pref.fukui.lg.jp>



### 肝炎を見過ごさない！

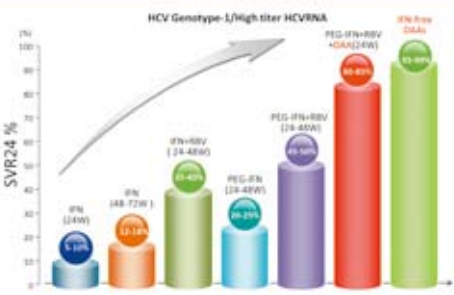
当院は日本肝臓学会の認定施設で、軽微な肝障害の原因検索をはじめとし、ウイルス性肝疾患、アルコール性肝障害、脂肪肝、自己免疫性肝炎や非アルコール性脂肪肝炎（NASH）等の慢性肝疾患診療を幅広く行っています。

その中でも日本における肝硬変、肝がんの最大の原因であるウイルス性肝炎の治療法は急速に進歩しており、近年、ウイルス増殖に直接阻害する飲み薬（DAA治療薬）の登場で、大きな副作用なく完治

することが可能となりC型慢性肝炎の治療率は飛躍的に向上しています。平成29年11月に最新薬も登場し、現在8週間から12週間の治療でほぼ100%の患者さんに治癒を期待することができます。今後、更に病状が進んだ腹水や黄疸のあるC型肝炎肝硬変の患者様にも安全にC型肝炎ウイルスを排除できる薬も登場し、ますます肝炎ウイルスを持つ方には適切な検査、治療を受けて頂くことが重要な時代になって行くと考えられます。

当院は6名の肝臓専門医があり、「治せる病態

#### 日本におけるC型肝炎症例動向



現在は経口薬でほぼ100%の治療効果が期待できる時代です

はきちんと治す」をモットーに、2014年より300例以上のC型肝炎患者さんに対してDAA治療を行い、ほぼ100%HCV排除に成功しています。特に、これまで副作用や併用薬が多いことより治療困難とされていた高齢者のC型肝炎治療にも積極的に取り組んでおり、75歳以上の後期高齢者の人でも重い副作用をほとんど認めず、ほぼ100%のウイルス排除に成功しています。

B型肝炎についても、肝臓以外の臓器に副作用を起さないように改良された内服薬も登場し、肝炎全体の治療目標や治療法のガイドラインも日進月歩で変わってきています。

このように適切にウイルス性肝炎を治療・制御することは肝硬変への進展や発がん予防にもつながりますが、治療法の進歩により、治療の必要性の判定や選択は多岐に渡り、経験豊富な専門医が担う役割が大きくなっています。

更に、肝炎の治療が飛躍的に進歩する一方で、特にC型肝炎においては、日本のC型肝炎患者さんは、肝炎症状のないキャリア（持続感染者）を含

#### 日本におけるC型肝炎症例動向

厚生労働省肝炎疫学研究会において、2011年時点のHCVのキャリアは98~158万人と推定されています<sup>1)・2)</sup>。



1) 日本肝臓学会「慢性肝炎の診断と治療ガイドライン」2011年版  
2) 日本肝臓学会「慢性肝炎の診断と治療ガイドライン」2011年版





消化器内科医長

砂子阪 肇 (すなござか はじめ)

■専門分野

肝胆膵疾患／消化管疾患

■所属学会

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本肝臓学会専門医

■ひとこと

富山県出身、金沢大学卒、現在福井県立病院と徐々に北陸地方を南下し、徐々に雪が少なく暖かい生活になるかと思いきや、就任初年度の昨年に人生最大の大雪に見まわられるという波乱に満ちた人生を歩んでおります。  
『世界・日本標準の治療を福井県民全員の方々に』をモットーに自分も研鑽を積みつつ、日々の肝疾患診療を務めさせていただきます。今後とも宜しくお願いいたします。

めると150万〜200万人いると推測されています。しかし医療機関で肝炎治療を受けている人は50万人にすぎず、残りの100万〜150万の人が感染していても治療を受けていないか、自分がC型肝炎ウイルスに感染していることに気づいてすらいないと考えられており、肝炎に関する検査や治療の認知度を低さが新たな社会的問題となつていきます。

当院はこれら肝炎を見逃ごさないという問題にも着手し、当院の全診療科受診者を対象に院内肝炎スクリーニングの体制を2017年より設けています。これにより病院全受診者が血液検査で肝炎ウイルス陽性が指摘された場合、まず肝臓専門医が連絡を受けて専門的に治療の必要性や治療法の評価を行っています。

消化器内科以外でも当院に受診頂いている患者様全員の健康を担保すべく肝臓のスペシャリストが適切に評価するこの新しい取り組みにより、1年間で約120人の新規肝炎患者さんを見つけることができ、その中で治療の必要性がある患者さ

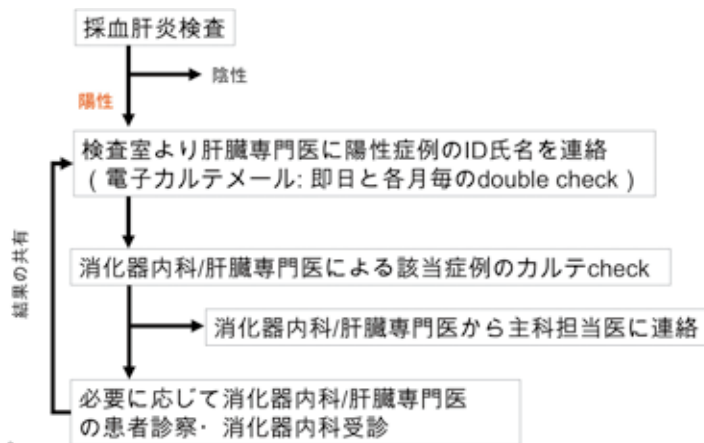
んには、きちんと肝炎治療の必要性を説明させて頂いた上で、主な病気の治療が落ちついた後に治療を受け、良好な治療成績を得ることができています。

現在は治療の進歩により、世界規模では世界保健機関（WHO）が2030年までに地球からウイルス性肝炎を撲滅しようと宣言するようになったという治療を受けた患者様の声も多く聞かれます。

世界で最も進んだ肝炎治療を受けることができる日本の中で、福井県で最先端の医療を受けることができる当院に受診しながら、肝炎ウイルスを治療せず元気になる機会を逃し、癌のリスクを抱えていることは非常にもったいない事だと我々を考えます。

肝炎の可能性がある人や、肝炎が心配な方はぜひ主治医の先生や消化器内科医師に相談してみてください。

当院における  
肝炎アラートシステムの構築



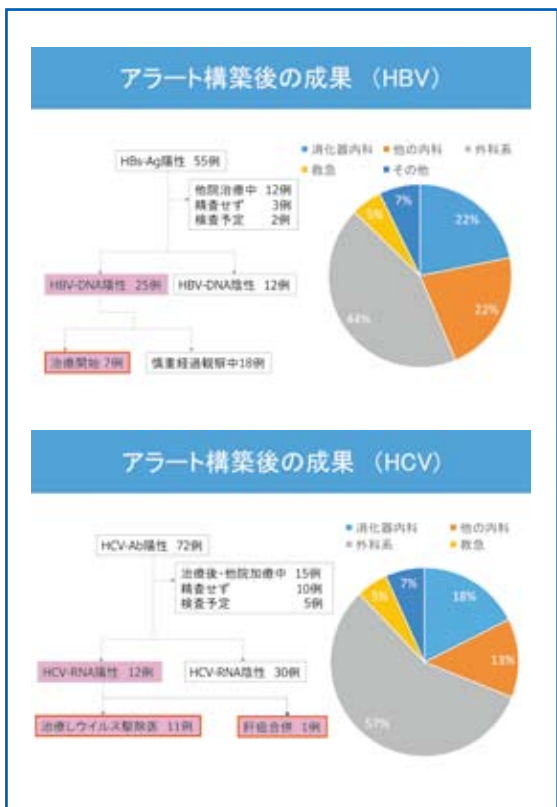
患者さんへの説明



肝臓専門医による  
検査結果の精査



血液検査





消化器内科医長  
**青柳 裕之** (あおやぎ ひろゆき)

■専門分野  
肝胆膵疾患／消化管疾患

■所属学会  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、  
北陸支部評議員  
日本消化器病学会専門医、北陸支部評議員  
日本肝臓学会専門医  
日本消化管学会専門医  
がん治療認定医

■ひとこと  
かつては太公望として自然と戯れる術を持っていましたが、医師になってより野趣とは無縁の生活となりました。福井に来て豊かな自然をみるとひそかに趣味の復活という野望がこみあげてくるのですが、年齢のせいか海や川に赴くべき足は遠のき、代わって福井の食文化に精通してきております。福井県立病院にお越しいただければ全国トップクラスの内視鏡診断と治療が受けられるように日進月歩する医療の先端を走っていきたくと考えております。これからも宜しくお願い申し上げます。

シリーズ  
**ドクターに  
ききましたっ!**

現代の医療は低侵襲治療が求められており内視鏡治療はその先駆けでした。内視鏡的粘膜下層剥離術という手法が開発され、リンパ節転移の可能性が低い病変に対し治療適応範囲はひろがりました。そのため治療前診断は重要です。当院では週1回の消化器カンファレンスを、2週間に1回の内視鏡治療前カンファレンスを行っています。カンファレンスに必要な画像は内視鏡情報管理システムに保存されています。当院では2018年10月に新しいファイリングシステムに刷新しました。

そのシステムに現在、日本消化器内視鏡学会が主導しているJED (Japan Endoscopic Database) projectに基づくデータシート入力が行われています。この入力により、その施設の水準や特徴が分かり、適切な治療や精度管理が行われているか客観的に評価することができ

**内視鏡治療最前線**



ます。  
当院では2019年度よりJEDに匿名化された情報を提供し、適切な内視鏡検査及び治療が行われていることを証明したいと思っています。

**NEWS**

**最新情報**

**がんサバイバーの  
ボランティアコンサートを開催**

「がんサバイバー」として活動する歌手のKEIKOさんと、ギタリストのKOUIJIさんによるボランティアアコンサートを開催いたしました。やさしい歌声とギターの音色が病院のエンターテインメントホールを包み込み、御来院の皆様にもエールが送られました。



KEIKO & KOUIJI

県立病院では、月に2〜3回のペースで御来院の皆様を温められるようなボランティアコンサートを開催してまいります。ぜひお立ち寄りください。

**皮膚科外来からの  
お知らせ**

**紹介初診枠を新設**  
月曜日と金曜日  
午後2時〜3時半  
皮膚科外来診療表

	午前	午後
月	再診	紹介初診 岡本
火	再診	手術 検査
水	再診	回診
木	再診	手術 検査
金	再診	紹介初診 岡本



副院長・がん医療センター長  
吉川 淳 (よしかわ じゅん)

■専門分野  
画像診断・IVR

■所属学会  
日本医学放射線学会画像診断専門医  
日本 IVR 学会専門医  
日本消化器病専門医  
肝臓専門医・指導医  
金沢大学臨床教授

■ひとこと  
小中高はサッカー部、大学は野球部でしたが、阪神・淡路大震災の年から走り始めました。10年前からはフル完走100回を目指して年6回のペースで大会に出ていましたが、そろそろ廻りの人に迷惑をかけそうなので諦めます。11月10日の21回目になるいびがわマラソンが最後になりそうですが、まず5月末にあるインターネットエントリーのクリック競争に勝たないといけません。

先駆的取組として、平成30年12月4日(水)国立がん研究センターの会議(都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会)で発表しました。



# がん相談支援センター

## 県内初 AYA世代 (15歳～39歳) がんサロンを開催

昨年3月に閣議決定した国の「第3期がん対策推進基本計画」において、AYA世代(15歳～39歳)のがん患者の支援強化が施策として盛り込まれました。

当院では、日頃からニーズを感じていたAYA世代を対象としたサロンをがん看護専門看護師とがん相談支援センターが中心となり、5月24日(木)に県内で初めて開催しました。新聞掲載や患者さんへの声かけで8人の方が参加されました。

がん看護専門看護師がアドバイザーを務め、ピアサポーターの協力の下、仕事の悩みや闘病体験など日頃の思いが話合われました。11月29日には、ナイトサロンも実施しました。この取組について、国立がん研究センターで発表し、フロアからSNSを活用した支援も提案されました。平成31年度も5月・11月に実施します。

### AYA世代のがん患者さんの課題

他の世代に比べて患者数が少なく、疾患構成が多様であるため、医療従事者に診療や相談支援の経験が蓄積されにくい。

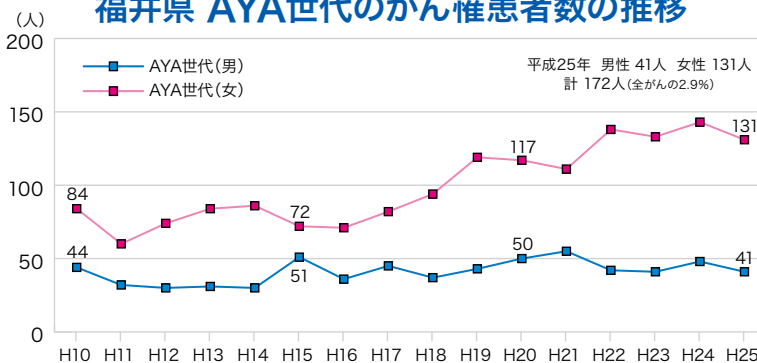
年代によって、就学、就労、生殖機能等の状況が異なり患者視点での教育、就労、生殖機能の温存等に関する情報・相談体制が十分ではない。

心理社会的状況も様々で、個々のAYA世代のがん患者の多様なニーズに対応できるように情報提供・支援体制および診療体制の整備が求められている。

第3期 がん対策推進基本計画より

- 職場にどのように話してる？
- 仕事を辞めさせられるという不安があって元気なふりをしているんです。
- 同世代の人と、普段は話づらい病気のことが話せてうれしかったです。

### 福井県 AYA世代のがん罹患者数の推移



## がん相談支援センターのご案内

【場所】がん医療センター内 【対象】院内外のがん患者さんおよびご家族

相談  
(面談・電話)

平日  
8:30～17:00

お仕事探しの方  
ハローワーク出張相談  
【就労支援ナビゲーター】

毎月 第1火曜日  
14:30～15:30

治療と仕事の  
両立についての相談  
【社会保険労務士】

毎月 第1火曜日  
10:00～13:00

がんサロン  
「きのの」

毎月 第2・4木曜日  
13:00～14:30

お問い合わせ ▶ **がん相談支援センター** TEL 0776-54-5151 内線3100



## 笠松内科クリニック

院長 かさまつ 笠松 まこと 誠 先生



出来るだけ早く、的確な診断を付けられる  
総合内科医を目標にしております

お陰様で開業して25年となり現在に至っております。これもひとえに皆様方の支えがあったからと感謝しております。

私個人としては、開業医は信号に例えれば赤、青、黄色のどれなのかを速やかにふるい分け出来る事が要求されていると考えています。初診で診断が的確にできるかどうかで、患者さんの運命は変わります。腹痛などで得意とするエコーを駆使して緊急性があるかを判断していただきます。そういう意味では、我々開業医に課せられた責任は非常に重いと感じております。

今後、24時間体制をとっておられる福井県立病院はじめ総合病院との緊密な病診連携体制を大事にして、診療に当たりたいと考えております。



住所：福井市下馬2丁目508  
TEL：0776 (33) 1100  
診療科：内科、小児科、皮膚科  
診療時間：9:00~12:30/14:00~18:00  
休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日  
URL：https://itp.ne.jp/info/182314109300000899/

## まつむら眼科クリニック

院長 まつむら 松村 たかし 孝司 先生



これからも地域医療の最前線として

当院は平成18年4月に福井市上北野にて「まつむら眼科クリニック」として開院、以後、先天性鼻涙管閉塞症の乳児から100歳の白内障患者様に至るまであらゆる年齢層の診療に日々努めております。

基本的には眼科の全疾患に対応を心がけております。白内障、緑内障等は勿論、糖尿病、高血圧、膠原病などの全身疾患に伴う眼合併症の診察、治療も多く手掛けております。しかしながら、緊急対応が必要な眼外傷、網膜剥離等では、福井県立病院などの提携病院に速やかにご紹介させていただいている状態であり、今後連携を密にさせて頂き、最適な医療を提供してゆきたく存じます。



住所：福井市上北野1丁目25-19  
TEL：0776 (53) 8878  
診療科：眼科  
診療時間：月・水・金 9:00~12:30/14:30~18:00  
火 9:00~12:00/手術終了後通常診療  
木 9:00~12:30  
土 9:00~13:00  
休診日：木曜・土曜午後、日曜、祝日  
URL：http://www.matsumura-ganka.net

# 藤田歯科医院

院長 ふじた ともみ 藤田 知巳 先生



## 患者さんとの対話を重視して

当医院は平成2年に県立病院南隣に開業し30年近くたちました。歯科医療を通して地域住民の皆様の健康と幸福に、微力ながらお役に立ちたいと日々努力しております。

歯科治療は治療方法がさまざまあり、患者さんひとりひとり治療のゴールが違ってきます。当医院では患者さんとの対話を重視して、口腔内カメラ・模型・図などを使って患者さんが納得するまで説明して治療を進めております。外科的処置や全身管理が必要な患者さんは県立病院と密接な連携を取って精度の高い治療を心がけております。



住所：福井市四ツ井2丁目9-18  
 TEL：0776(53)5006  
 診療科：歯科、小児歯科  
 診療時間：9:00～12:15/14:00～18:15  
 ± 9:00～12:15/14:00～16:15  
 休診日：木曜、日曜、祝日  
 URL：<http://fujita-shika.jp>

## 平成31年度 開放型病床カンファレンスのご案内

当院では、①知識の向上 ②交流 ③情報交換 を目的に、開放型病床カンファレンスを開催しています。医療機関の皆様からのたくさんのご参加をお待ちしております。

参加をご希望される方は、毎回事前に当院地域医療連携推進室までご連絡をお願いいたします。



症例検討



ミニレクチャー

第4木曜日 19:30～20:30 年9回開催

開催日		4/25	5/23	6/27	7/25	9/26	10/24	12/19 第3木曜	2020. 1/23	2020. 2/27
症例検討 19:30 ~ 20:00	講師	小児科	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	腎臓・膠原病内科	内分泌・代謝内科	外科	血液・腫瘍内科	脳神経内科
		ミニレクチャー 20:00 ~ 20:30	放射線科	E R	薬剤部	心臓血管外科	泌尿器科	乳腺外科	眼科	未定

※詳細につきましては、当院HPをご覧ください。

なお、連携医の皆様には、開催前にFAXにて改めてご案内させていただきます。

※開催日時につきましては、様々なご意見をいただいておりますが、平成30年度同様の日時で開催することとなりました。ご了承ください。



軽食も用意しています

# 教えて 看護師さん vol.4



中央外来 看護師長  
糖尿病看護認定看護師  
よしだ ようこ  
吉田 陽子

## 「糖尿病患者さんのフットケアについて」ちょっと解説

糖尿病で高血糖（血糖が高い）状態が長く続くと、痛みを感じにくくなったり、小さな傷でも知らないうちに悪化し、重症になると足の切断につながることもあります。

これらは、糖尿病による神経障害、血流障害、抵抗力の低下が原因です。

足のトラブルを起こさないために、日頃の足の観察が大事です。いつまでも自分の足で元気に歩く歩けるように足を大切にしましょう。

### 足の観察について

毎日足を見る習慣をつけましょう。下の項目に該当するものがあつたら、かかりつけ医に受診しましょう。

### 爪の切り方について

#### ●チェックするポイント



爪は指の形通りに切っていますか？ 深爪傾向になりやすいので、巻き爪になりやすいです。足の指と同じ高さでまっすぐに切り、やすりをかけましょう。



### 清潔にしましょう

足を清潔にしましょう。シャワーやお風呂の時に、足の指の間も丁寧に洗い、お湯で洗い流しましょう。タオルで拭く時は指の間の水分をしっかり拭き取りましょう。

### 保湿

シャワーやお風呂のあとに、クリームなどを塗りましょう。お湯は肌の油分を奪ってしまうので、そのままにしておく肌乾燥し、かゆくなります。その予防のためにクリームなどで保湿しましょう。ただし、足の指と指の間は水虫予防のために乾燥させたのでクリームは塗らなくてよいです。



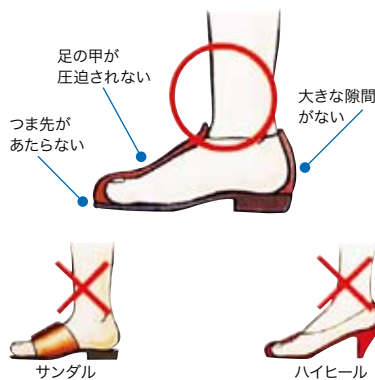
### 靴下について

靴下は色が黒っぽいものですと、靴を脱ぐまで出血などがあることがわかりません。なるべく薄い色の靴



### 靴の選び方

足に合う靴を購入するときは午後後にしましょう。一般的に午後から夕方にかけて足がむくんできます。午前中に靴を購入すると、夕方には足が痛くなる場合があります。



下をはきましよう。靴を脱いですぐに出血があることがわかりません。また、足を守るため、夏でも靴下を履く習慣をつけましょう。足に汗をかいたら履き替えましょう。そのまま湿った靴下を履いていると水虫になることがあります。

### 糖尿病療養 相談外来で

フットケアをしておりますので、主治医に希望をお伝えください。

問い合わせ

福井県立病院  
看護外来内 糖尿病療養相談外来  
☎0776-54-5151 内線 2482  
内線 5178

地域医療連携推進室  
TEL (0776)57-2900  
FAX (0776)57-2901

救命救急センター  
TEL (0776)57-2990 FAX(0776)57-2991

電話対応 月～金/8:30～18:00 土(紹介予約受付)/8:30～12:30  
祝日および年末年始(12/29～1/3)を除く



HP <http://fph.pref.fukui.lg.jp/>

スマートフォンからは  
こちら→



発行

## 福井県立病院 情報発信力強化委員会

〒910-8526 福井市四ツ井2丁目8-1 TEL (0776)54-5151(代) FAX(0776)57-2945